

開催日時：平成24年11月21日（水）

10:00～12:00

開催場所：徳島市役所 8階 庁議室

第1回 ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

会議録（要約）

【出席者】

委員：13人

阿部委員、大谷委員、岡部委員、黒田委員、近藤委員、長澤委員、中村委員、間委員、服部委員、真鍋委員、森竹委員、矢部委員、吉岡委員

オブザーバー：4人

徳島県 河川振興課 運輸政策課

市側：16人

都市整備部まちづくり推進課ほか

傍聴者：0人

【会議プログラム】

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 委員紹介
- 5 会長の選任と副会長の指名
- 6 会長就任のあいさつ
- 7 議 事
- 8 連絡事項等
- 9 閉 会

【会議の内容】

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ

3 委嘱状交付

4 委員紹介

5 会長の選任と副会長の指名

委員の互選により会長に近藤委員を選出した。
会長の指名により副会長に中村委員を選出した。

6 会長就任のあいさつ

7 議 事

「川の駅ネットワーク構想策定の経緯について」

「ひょうたん島周辺の現在の活動等について」

「川の駅候補場所の現状について」

意見交換および質疑

事務局から説明

8 連絡事項等

次回の開催は、12月下旬か、1月上旬を予定しています。

9 閉 会

以 上

■第1回市民構想会議のまとめ(平成24年11月21日)

注)事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
コンセプトおよび方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・会全体として、まずこうしていきましょうというコンセプトを、かっちりと決めていく方が良いのではないか？ ・メンバーの中で共通認識を持って、この川の駅をどういう風に活用していくかというコンセプトを決めていくことが、一番大切なのではないか？ ・「水都とくしま」というものをみんなが共通認識する必要があるのではないか？ ・ドラフト(素案)があって、それに対して我々が意見を呈して行って、それを変更、承認していくという形なのか？もしくは今の段階でコンセプトというのは全くなくて、それを我々のこの話し合いの中で決めていくのか？ ・観光を目的としての構想か、交通を目的とし市民の脚としての構想かによってだいぶ違ってくるのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に、川の駅の候補駅を絞り込んでいただくのと、船の運航形態をどのようにしていくか、方向性を決めて行きたい。 ・意見を頂きながら、コンセプト作りから始めていきたい。 ・市民の方が日常的に、手軽に利用していただけるようなシステムにしたい。
会議の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島市が考えている川の駅の活用の仕方というのを、ある程度明確にしなが、その中で審議していくというのが、効率の良い会議の仕方ではないか？ ・意見の収束、最後の地点が見えてこないのではないか？ ・ゴールの設定をした方がいいのではないか？ ・一つ一つかみ砕いて議論をした方がいいのではないか？ ・ハード面での完成と川の駅をどう活用していくかというイメージの取り方というのもひっくり返して一つのゴールというのは、なかなか難しいのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅をいくつ作るのか、川の駅に自転車置き場等をどう設置するのか。また運航方法・運航形態等についても、この会で意見を出していただき、たたき台を作成し、次回からは、それを基に議論してもらいたい。
数値目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・年間どれくらいの方が乗ったら、この構想会議として川の駅として成功したかとか、そういったものがあったてもいいのではないか？ 	
船の運航主体について	<ul style="list-style-type: none"> ・主体は新町川を守る会になるのか？ ・中村さん(新町川を守る会)の負担にはなっていないのか？ → 負担は負担だが、今の形態がまちづくりには一番合っていると思う。 ・新町川を守る会だけに船の運航をお願いするのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、新町川を守る会に運航をお願いしているので、主体は、新町川を守る会をお願いすることになると思う。
船の運航形態について	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日路線バスのように決まった時間に運航して、市民の交通手段とするのか？ ・日曜・祭日などのイベント時にのみ運航するのか？ ・川の駅は観光客がメインなのか、市民の日常生活に溶け込んだ移動手段なのか？ ・本当に必要なとされての交通手段としての整備というの、今後必要なのではないか？ ・観光とは切り離れた日常生活といったところも、考えていけないといけぬのか？ ・新町川を守る会さんの方で今の船の数で実際足りるのか？ → 近いうちに6隻くらいにしないといけない。 ・今のマンパワーで足りるのか？ → 人はいつも足りない。まちづくりをしようと思う人がいてくれたら一番いい。 船が沢山あってもまちづくりにはならない。地域をよくしようと思う人が活動に加わってくれた方がいい。 ・水上交通で西新町に新しく船着き場ができるところまで、往復できるような時刻表を作る。 ・満潮・干潮時の対応も必要。 	

キーワード	委員意見	事務局意見
ひょうたん島以外の川の駅候補について	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅の要望が沖洲のケーズデンキ横、アスティ徳島などがある。 ・ケーズデンキ・アスティ徳島に船着き場が出来ると広がりが出ていいのではないかな？ ・沖洲に行くことによって、万代ふ頭も賑わうのではないかな？ ・沖洲川から住吉島川を通ると昔のひょうたん島になるので関心が出てくるのではないかな？ ・吉野川へ送迎船を出すことは、延長線上でできる。 	
川の駅周辺の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の整備も必要。 ・川の駅の駐輪場(駐車場)はどうするのか？ ・川の駅にベンチ等を置いて船が来るまで座って待っていただける場所を作る。 ・駐車場から人が中心市街地へ流れるような仕組みが必要。 ・周遊船に普段から来てもらえるような街にするというようなことが必要。 ・一つ一つの駅に受け皿があり、ちゃんと降りる意味があるような街づくり。 ・それぞれの地域の人たちがつないでいけるネットワークみたいな駅舎イメージ。 ・それぞれ地域ごとの行政区も含めてそこでコミュニティが生まれる仕組み。 	
周遊船の利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在周遊船利用者は、県内6割・県外4割。 ・アンケートの結果イベント時は利用する。 ・イベントの時以外は、途中で降りる人は少ない。 ・あわぎんホール(郷土文化会館)・助任で現在は降りられる。 ・買い物のために使う人は少ない。 ・市民の利用が多いのは他県とは違う。 ・県外の人が発する感嘆の言葉を県内の人聞いて、自分たちが住んでいる街に誇りが持てる。 ・新町川を守る会の周遊船は、地元の人乗るし観光客も一緒になって乗るところの良さというものがある。 	
ワークショップ(WS)について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備だけのWSでは、募集をかけても決まったメンバーになってしまう可能性がある。 ・今までにも他のWSで似たような実績があるので、同じようなことをしてももったいない。 ・子供達や各地域で参加している方に、川の駅を作ろうとしている場所で何かの活動をしてもらう。 ・活動してもらうということを繰り返していくことによって、一般市民に広く知ってもらう。 ・参加した人たちの意識向上をしていく。 ・子供のうちからこういう事業に参加できるような形が良いのではないかな？ ・模造紙に書き込むだけでは、なかなかまちづくりというものにはつながりにくい。 ・市民にいかにこれを分かってもらい、共有できるかな？ ・徳島市やいろんな活動を含め、子供達・次世代へメッセージを送れるWSのあり方を考えてはどうか。 ・参加募集については、子供達をいかにまちづくりに興味を持たせれるような仕組みにするかが大切である。 ・一概に今の市民参加のWSで決めてしまうというのも、決めきれものではない。 	

キーワード	委員意見	事務局意見
川を中心としたまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは川から都市再生。 ・市民が参加してくれることが、一番。 ・川が市民のものになる。 ・市民が乗るから、川が良くなっていく。市民が参加をしないといけない。 ・川の駅ネットワークがまちづくりの一つの大事なキーワードなのではないか。 ・市民が新町川をサポートする仕組みならまちづくりが市民にも浸透しながら川をきれいにしていく。 	
予算について	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方から予算は？ ・行政がお金を出すと、失敗する。 ・市民が支え、企業が支えて行くという形が出来るのが、まちづくりには望ましい。 ・市民が支えてくれないと、駄目だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずご意見を頂いて、多少費用がかかってもやらないといけないというものが出てくると思う。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ロコミで増える県外観光客は歓迎だが、無理に宣伝しなくても市民が楽しんでくれる川にしていきたい。 ・市民が本当に楽しんでくれたら、県外にも自然と広がっていく。 ・任意の委員会等と一緒に協議をする場も必要なのではないか？ ・観光のためだけにとか、一般の交通のためだけにといった方向に行きすぎると、観光資源としてはよくなっても、川が汚れていくなどの逆の部分もある。 ・水を愛する人に船に乗ってもらいたい。 ・川掃除も20年間ずっとしているが、ロコミで広がっている。 	